

大学院入試 博士課程（建築計画系）提出資料作成要領

■提出資料

研究計画書 5 ページ および ポートフォリオ 2 ページ

■研究計画書作成要領

- 一 日本語または英語を用い、A4 用紙 5 枚以内に収めること。
- 一 文字は 10～10.5 ポイント、行間自由とし、余白は四周とも 20mm、下部余白中央にページ数を振ること。
- 一 冒頭に「研究課題名」を明記した上で、以下の論点を記述し、適宜見出しを付して、読みやすい研究計画書に仕上げる。適宜、図表を使用してもよいが、図表も上記 5 枚のうちに含める。

1. 出願者の現在までの研究状況

- ①出願者のこれまでの研究について、背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点を、当該分野の重要文献を挙げて記述すること
 - ②出願者のこれまでの研究の経過及び得られた結果を①で記載したことと関連付けて説明すること
- ※なお、これまでの研究成果を投稿論文あるいは学会等で発表している場合には、出願者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述すること

2. これからの研究計画

(1) 研究の背景：これからの研究計画について、背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等を、参考文献を挙げて記入する

(2) 研究目的・内容：

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述すること
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること
- ③ 所属希望研究室の研究との関連について述べること
- ④ 研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載すること

(3) 研究の特色・独創的な点

- ① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点

② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義

③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

3. 研究スケジュール

応募時点から入学までの準備状況を踏まえ、3年間の研究計画について記載すること

4. 研究課題名の英訳および研究計画の英文概要（300words 以内）

本文を英語で記述する場合は、研究計画の英文概要（300words 以内）のみで良い。

- 一 論文、文献の引用は適切におこなうこと。
- 一 氏名・顔写真など受験者が特定できるような内容は記載しないこと。記載した場合、失格となる場合があるので注意すること。

■建築計画系出願用ポートフォリオ作成要領

- 一 A3 サイズ 2枚以内とする。
- 一 作品数は自由とするが、出願者が単独で設計した作品のみとする。ただし出願者が主たる設計者として設計した実作（竣工した建築作品）については、他の共同設計者がいる場合でも、共同設計であることと出願者の役割を明記したうえで、掲載してもよい。
- 一 記述には日本語または英語を用いる。
- 一 文字の大きさ、体裁などは自由とするが、A4 サイズ縮小表示で判読可能な表現とすること。
- 一 PDF ファイル形式で容量は 5MByte 以下とすること。
- 一 1 ページ目の左上に「建築計画系出願用」と明記すること。
- 一 氏名・顔写真など応募者が特定できるような内容は記載しないこと。

※意匠系との併願者について： 以上の条件を守る限りにおいて、意匠系出願用のポートフォリオと重複があってもかまわない。ただし、建築計画系出願用と明記して意匠系出願用のファイルとは別に提出すること。

以上